

平成 30 年 7 月 30 日

2021 年度入学者選抜における「英語科目」の扱いについて  
(2020 年度実施、2021 年 4 月入学)

東京外国語大学

本学は、2021 年度一般選抜試験の「英語科目」について、以下の方針を決定いたしましたので、お知らせいたします。

1.

現在行われている大学入試センター試験に代わり、2021 年度入試より実施される大学入学共通テストの「英語科目」について、本学は、筆記試験に加え、大学入試センターが認定した英語 4 技能の資格・検定試験の試験結果を、出願要件として利用します。出願要件は、本学への受験機会を多くの受験生に提供するという観点から、文部科学省公表（平成 30 年 3 月）の CEFR 対照表において「A2」以上を取得していることとします。

2.

一方、本学は、中等教育における英語の指導要領に鑑み、高等学校等において英語 4 技能を十分に身につけたか否かを問う本学学力検査の実施を検討してまいりました。すでに、本学は、2019 年度入試より、国際日本学部一般選抜前期日程試験において英語スピーキングテスト（BCT-S）を導入することを発表しておりますが、「1」にあげた資格・検定試験結果が出願要件となる 2021 年度入試より、これを全学に拡大いたします。すなわち、2021 年度入試より、言語文化学部・国際社会学部・国際日本学部の一般選抜試験（前期日程）「英語」において、従来のリーディング、ライティング、リスニングの能力を測る筆記試験に加え、スピーキングテスト（BCT-S）を実施します。

なお、本スピーキングテスト（BCT-S）は、本学の一般選抜試験（前期日程）会場にて同日に実施いたします。詳細は後日、発表いたします。

\* 「国際日本学部」は 2019 年 4 月設置予定です。

\* 「BCT-S」とは、本学とブリティッシュ・カウンシルが共同で開発するスピーキングテストです。